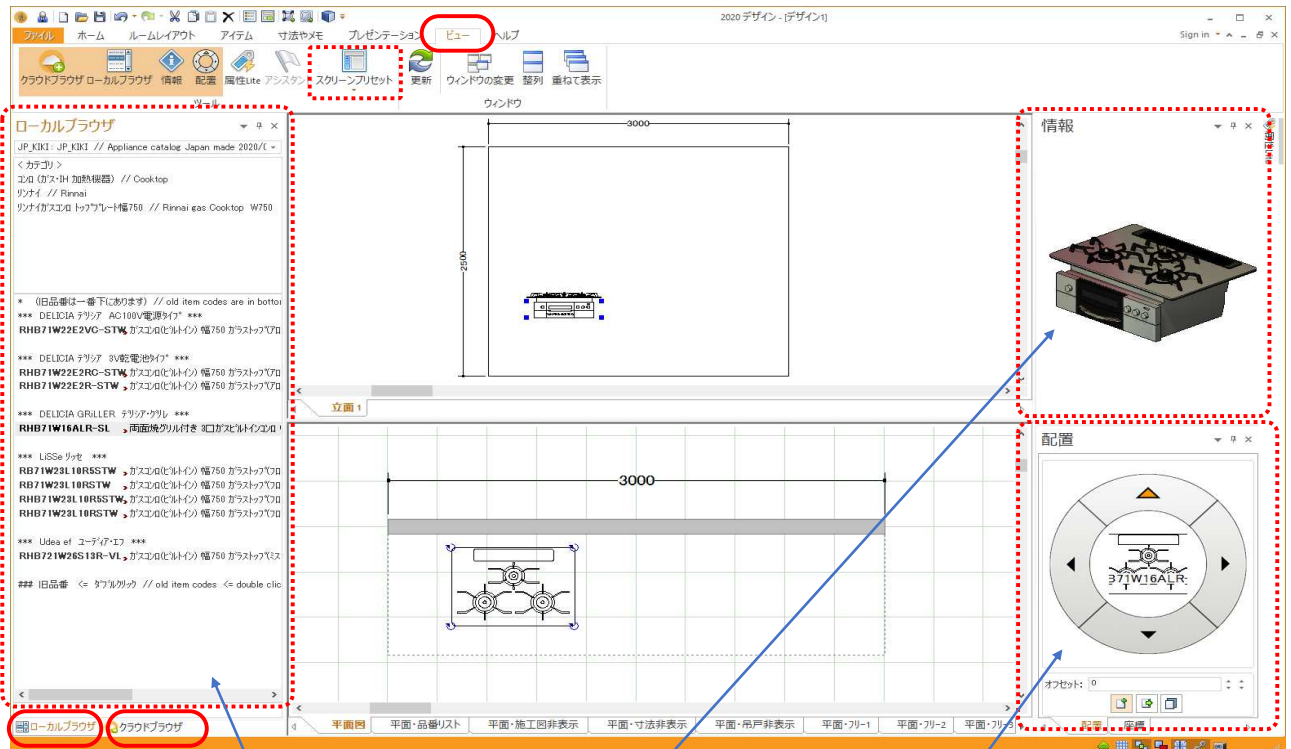


2020 Design V12 主な変更点と改善点

(株) ワイ・エム・エム 2020事業部

1) V12 メイン画面

初期値では下図のようになりました。この配置は [ビュー] メニュー ⇒ [スクリーンプリセット] で変更できますがこのままをおすすめします。



[情報] ボックスは、右上に移動しました

[配置] ボックスは、右下に移動しました

ここ (左側いっぱい) にカタログのコンテンツ (内容) が表示されます
V8.1で [カタログ] ボックス、V11で [ドラッグ&ドロップ] ボックスと称していましたが
V12では、[ローカルブラウザ] または、[クラウドブラウザ] と称します

アイテムの配置方法は、V11までと変わりません。基本的には、品番を平面図エリアにドラッグ&ドロップして配置します。

この画面構成のメリットは、ローカルブラウザが縦長に大きく使えるので、項目が一目で見渡せ、下のほうに隠れている項目を探すためのスクロール・アクションが圧倒的に少なくて済みます。

また、[情報] ボックスや [配置] ボックスも常に右側に大きく表示されているので、いちいちボックス枠(境界線)を拡大したり縮小したりする必要がありません。

ローカルブラウザとは、PCにインストールされたカタログの内容です (JP_KIKI やメーカーカタログ)。
クラウドブラウザとは、ソフトキーをお使いの場合に、2020のクラウドデータをダウンロードしながら使うカタログの内容です。
画面左下の [ローカルブラウザ] [クラウドブラウザ] をクリックして切り替えます。

2) ソフト本体が 64ビット版に

2020 Design は V11 までは、32ビット版のソフトでした。

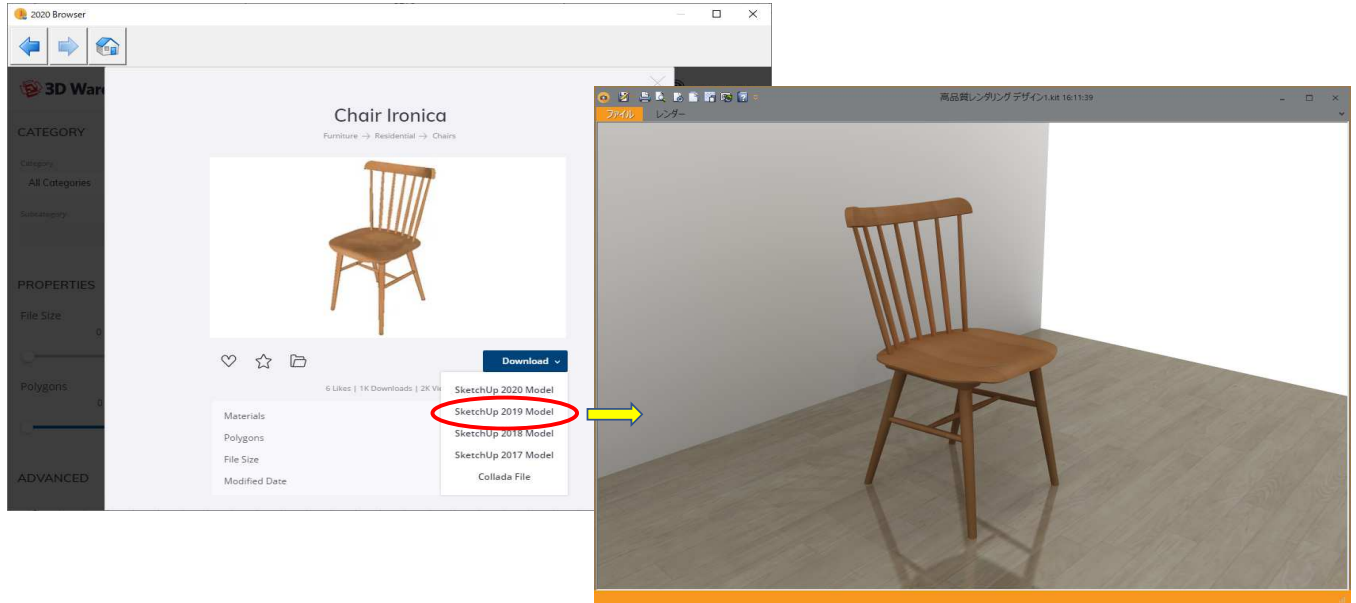
V12から 64ビット版のソフトになり、PCの処理能力をより引き出すことができます。
通常の処理ではあまり違いを感じませんが、重たいレンダリングの表示やファイル保存時のスピードが違います。

3) kitファイルのサイズ最適化

大きな (複雑な) kitファイルになるほど、サイズが V11よりも小さくなるようです。
例: V11で1,825KB だった kitファイルが V12で読み込んで保存すると 1,337KB でした。 約70%

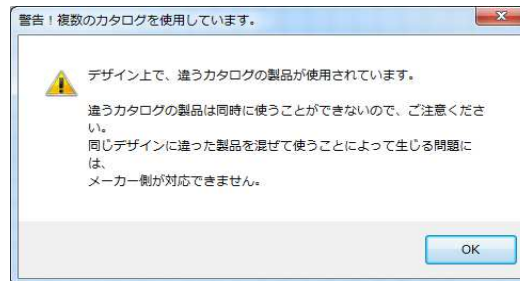
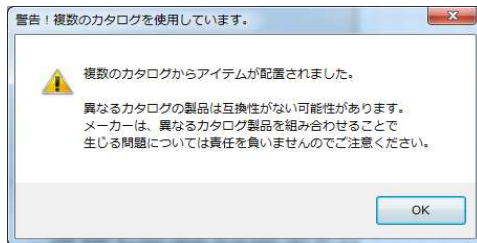
4) SketchUp との連携(インポート) が復活し、2019モデルまで対応

別紙でご説明します。



5) その他 (日本で関係ありそうなもの)

- ・ ソフトキーの場合で、期限切れ(7日間サインオフ) でサインインできなくなる不具合の解決
7日間連続サインオフ状態でなかったにもかかわらず、期限切れメッセージが出てスムーズにサインインできない(再試行すればできる) ことがありましたが、これが解決しました。
- ・ カウンターウィザードに必要なカタログ類のインストールが不要になりました。
smp_l.ct と smp_l.ctm カタログのことです。
ソフト本体インストール時にSAMPLE系カタログやROOM系カタログと一緒に自動インストールされます。
- ・ 複数のカタログからアイテムを配置しようとしたときの下記の警告メッセージを出なくなりました。



以上